

# The 87<sup>th</sup> GREEN Seminar



研究者として55年の彷徨 -  
有機反応論から基礎電気化学、そして蓄電池開発まで

## 魚崎浩平フェロー

(国立研究開発法人 物質・材料研究機構)

1968年4月に卒業研究で有機化学講座(工学部)に所属して以来55年間多様な組織で研究者として過ごしてきた。修士課程修了後は民間企業での応用研究・市場開発・プラント設計、オーストラリアでの博士課程留学、企業に戻っての調査研究・研究企画、英国での博士研究員を経て、北大理学部勤務。教養部担当(10年間)後、物理化学講座担当教授として基礎電気化学(単結晶電極、自己組織化単分子層)・表面物理化学(走査プローブ顕微鏡、非線形分光、放射光利用による固液界面構造)の研究を進め、スタッフ、学生を輩出し、大学運営にも貢献。NIMSとの関わりは、2002年の創成科学研究機構特定教員招聘および2004年のNIMS-北大包括連携協定に始まり、2008年の連係大学院設置では北大側責任者。2008年10月MANAサテライトPI、2009年ナノ材料科学環境拠点参画機関代表を経て、2010年よりNIMS勤務。当初はMANA PIとして研究中心(電極触媒)、徐々にGREEN拠点長など運営にシフト。この10年間はJST次世代蓄電池PJ(ALCA-SPRING)の運営など蓄電池開発に重点。当日は55年間、特にNIMS所属の13年間を振り返り、NIMS研究者への期待を述べる。

※魚崎浩平フェロー NIMS最終講演会／企画 GREEN

**Format:** Auditorium, 1F, NanoGREEN/WPI-MANA Bldg.,  
Namiki-site / Zoom (Hybrid)

**Date:** Monday, 20 March 2023

**Time:** 16:00-17:15

**Language:** Japanese (日本語)

**Registration for both on-site & on-line:**

**Deadline: 16 March 2023**

<https://bit.ly/3IX6P2c>



Contact: TATEYAMA.Yoshitaka@nims.go.jp